公共施設在り方検討委員会の検討経過

参考資料

1．これまでの実施概要

第１回
令和６年８月26日（月）
09:50～11:55

議題：
①市公共施設在り方検討委員会について
②公共施設の在り方・再編方針のイメージと検討の進め方について
③公共施設の現況と課題及び検討の論点について
④ワークショップの概要について
⑤次回以降の開催日について

第２回
令和６年11月25日（月）
09:30～11:30

議題：
①検討の進め方について（本日の位置づけ）
②公共施設等の現況等について
③公共施設機能の現状とこれからの在り方について
④相乗効果が見込まれる公共施設機能の組合せについて

第３回
令和７年３月17日（月）
10:00～12:00

報告：
①公共施設等の現況等につい
②職員検討会の結果について
③市民ワークショップの結果について

議題：
①これからの公共施設の在り方について
・これからの公共施設の将来ビジョン
・施設配置方針（エリアの捉え方）

第４回
令和７年５月19日（月）
10:00～11:40

報告：
①今後の進め方について

議題：
①これからの公共施設が目指すビジョンについて
②エリア別の公共施設マネジメント方針について

第５回
令和７年7月16日（水）
10:00～12:02

志木小学校視察

第６回
令和７年９月１日（月）
09:30～

報告：
①今後の進め方について
②視察報告書について

議題：
①これからの公共施設が目指すビジョンについて
②エリア別の公共施設再編方針について
③学校施設の活用について

2．これまでの検討経緯（公共施設のこれからの在り方に対する主な意見）

第１回～第２回

公共施設のこれからの在り方

【共通】
- 将来的な無人管理も見据え、エネルギー等の遠隔や自動管理、DXによる全体最適化も検討できるとよい
- 自由に使える施設であっても、想定される使われ方を示すなどある程度の規律は必要
- 自由に使えるだけでなく、転用できる視点も必要
- 多様な人が使う施設であることも認識しておくべき
- 複合化によって創出される余剰の公有地に対しても資産として捉えるべき
- 機能・サービスに応じて受益者負担とすることもあってよいのではないか

【学校施設】
- 地域が利用できる諸室や学童保育所の確保等を検討されており、今後は、学校の建替時に様々な施設との複合化は考えられるだろう
- 優先度をつけて対応するべき学校施設は早急に対応していく必要がある
- 学校施設の複合化を検討する際には、子どもの検討に参加できるプロセスをとってほしい
- R10年度まで児童・生徒数の増加が見込まれている中で、別施設との複合化は考えにくい。夜間の教室利用や音楽室等の開放、プールの共同利用などの方法がとれるとよい。

【子育て支援施設】
- 教育相談、不登校の学びの場はとても重要。フリースクールなども含めて行政が支えなければいけないことについては議論を深めていくべき

【図書館】
- 駅前などでの図書の受取ポストの設置
- 受取ポストなどでもおすすめ本の紹介・感想返信機能の導入

第３回

これからの公共施設が目指すビジョン

【共通】
- ハコの作り方と使われ方、運営のあり方も区分して示したほうがよい
- 宮地楽器ホール周辺のような空間ができるとよい

【交流・つながりの場】
- つながらない自由も重要。
- 交流を促すために、コーディネーター配置等ソフト面の仕掛け、つながりによるメリットを示すことが必要
- 学校は学校であることが大前提、交流・つながりの場ではなく学校教育の課題解決に資する機能・サービスを考えていくべき

【目的によらない自由に利用できる場】
- フレキシブルの考え方を議論するべき
- 学校や図書館は前提となる機能が重要、その上で他の利用が許容されるとよい
- 公民館と集会所など同じような利用がされている施設は一体的に運用されるべき

【短期的な対応の視点】
- 予約や施設運用等、短期的に対応できることは進めてほしい
- 整備だけでなく、用途廃止後の解体前の活用も考えられるとよい

【公民の役割分担】
- 総量抑制に向けて、公共が担うべきサービスの濃淡を検討してはどうか
- 防災機能は強化・拡充が必要

【官民連携の推進】
- 市の計画通りに事業が進行できない可能性も考慮するべき
- 民間活用に向けては事業性の検討も必要
- 民施設の積極的な活用の視点もあるとよい
- 地場の事業者が参加しやすい官民連携であるとよい

■施設配置方針（エリアの捉え方）

- 中学校を１つのエリアとして考えるのはよいが、中学校をコア施設とするのは疑問であり拠点の名称は工夫できるとよい
- 中学校区ごとに施設を集約することで公共マネジメント上の財政健全化が達成できるか、その上でなおも施設総量の縮小が必要か示してほしい
- コア施設とはどのような役割を担うのかまた、５つ必要か。緑中学校、東中学校エリアは駅周辺の拠点施設とあわせて考えてよいのではないか
- ２つの駅と新庁舎を拠点とする考え方、中学校区程度を１つのエリアとして捉えコミュニティの拠点施設を配置していく考え方の２つの考え方を示すことは重要

第４回

これからの公共施設が目指すビジョン

【共通】
- 公共施設全体の最大公約数的な視点と、施設ごとの具体性を両立させた議論が必要
- 居場所となる場が、学校施設にも適用されると誤解を招く恐れはある。一方で公民館や集会施設などは、気軽に行ける場として期待される。公共施設を一括りにせず、施設ごとの特性や目的に応じた表現も必要

【学校施設】
- 学校や教育の在り方をより丁寧に記述すべきであり、学校施設の視点からみると全てのビジョンを包含するものでもないように感じる
- 安全性を最優先に、地域性等を考慮したバランスの取れた方針が必要であり、学校の在り方を明確に整理・集約して示したほうがよい

【地域防災】
- 現状の備えが不十分という懸念があるので、今後の想定も踏まえて考えていく必要がある

【新庁舎の活用】
- 事業が進み将来の施設像が見えてくるので、具体的な数値等の条件の中で活用を検討したほうがよい

【官民連携】
- 官民連携事業の際にも民に任せきりにならず行政としても積極的に関わる姿勢を示すべき
- 市としてどのような選択を取っていくかを示せればよい
- 総合管理計画でも示されているためビジョンに明記するべき内容か再検討したほうがよい

■施設配置方針（エリアの捉え方）

- エリアでの公共施設再編と交流・創造拠点の役割の違いは丁寧に示すべき
- 交流・創造拠点がどのような機能を担うのか示してほしい
- 歩いてアクセスできることをエリア設定の１つの考えとしていることは明示したほうがよい
- 市全体として最適配置を図りながら地域活動の基盤となるエリアを再編の単位として設定していることを示すべき
- 公共交通を利用した際のアクセスなどについても説明があるとよい
- エリア名称について中学校が中心であると誤解が無いような表現としたほうがよい

【集約・複合化のイメージ】
- 集約・複合化の受入先の候補には、中学校、小学校以外の施設も含まれており、特に保健センターや本庁舎の跡地などはゼロベースで考えられるため、そうした場所の在り方も考えるべき
- 児童・生徒が増え教室が足りない中で、優先的に学校施設への機能集約をベースに考えてよいものか